資料 3

九州横断自動車道延岡線（矢部（やべ）～蘇陽（そよう））
第2回　説明資料

令和3年9月13日

国土交通省　九州地方整備局

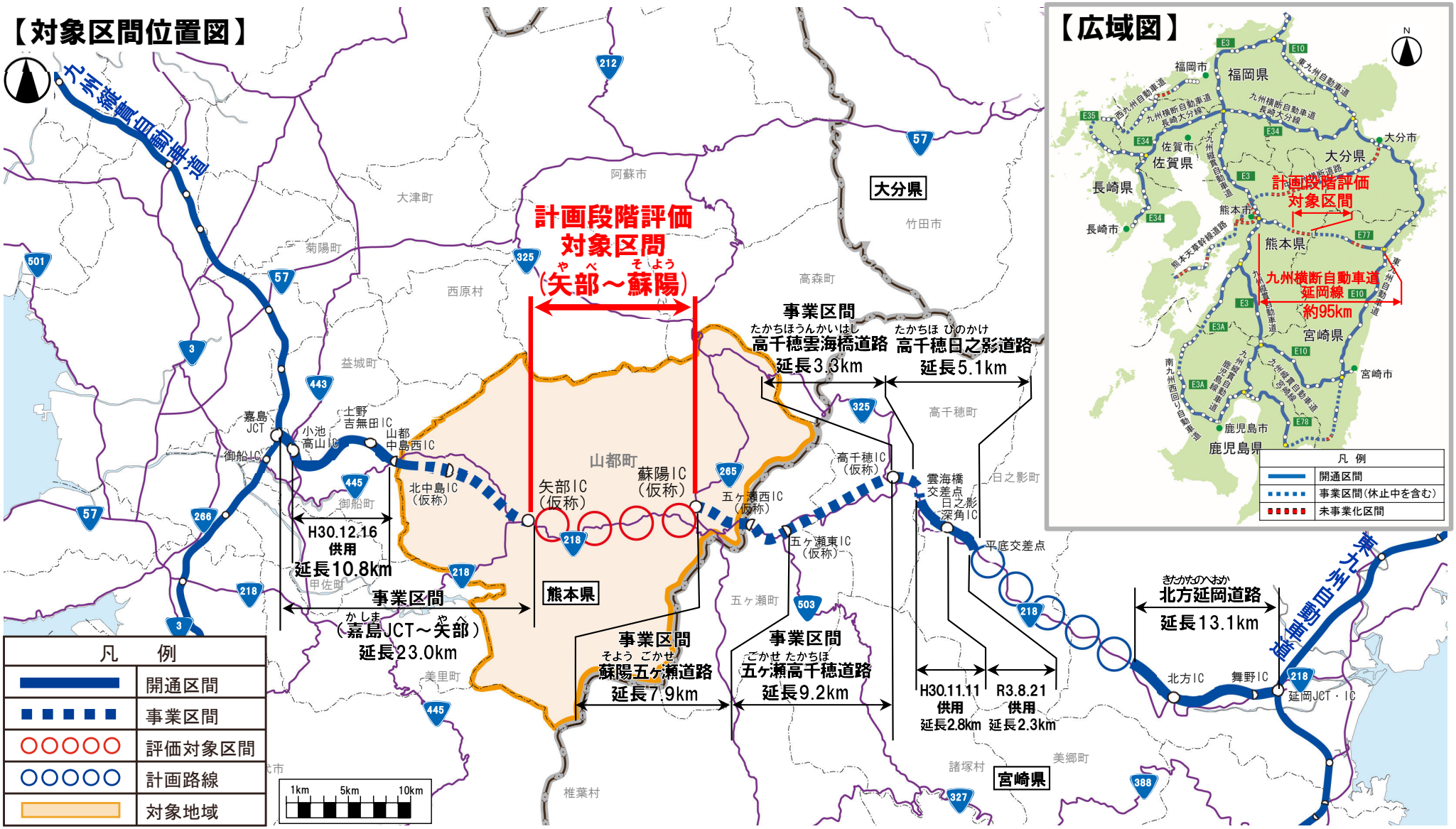
目　　次

１．前回までの審議内容　・・・２
２．第１回意見聴取の概要　・・・７
３．第１回意見聴取の結果　・・・１５
４．複数案の設定　・・・２０
５．第２回意見聴取の方法（案）　・・・２９

１．前回までの審議内容

1-1. 九州横断自動車道の進捗

○対象区間は、九州横断軸を構成する<u>九州横断自動車道延岡線の一部</u>です。
○事業区間の「嘉島JCT～矢部IC」と計画段階評価が完了した「蘇陽～高千穂」を結ぶ道路であり、<u>熊本県内では唯一計画段階評価が完了していない区間</u>です。



1-2. 計画段階評価手続きの進め方（案）

【令和元年9月11日】

第１回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆計画段階評価手続きの進め方
◆地域と道路の課題
◆政策目標（案）
◆地域の意見聴取方法（案）

【令和元年11月～令和2年1月】

意見聴取

◆意見聴取内容
○地域と道路の課題
○政策目標（案）

◆意見聴取方法
《ヒアリング、オープンハウス、アンケート》
対象者：沿線自治体
団体代表者
地域住民
企業等

今回
【令和3年9月13日】

第２回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆地域から聴取した意見内容の確認
◆政策目標の設定
◆複数案の設定
◆評価項目の設定
◆複数案の比較評価
◆地域の意見聴取方法（案）

意見聴取

◆意見聴取内容
○対策方針（複数案）の検討に際し重視する項目

◆意見聴取方法
《ヒアリング、オープンハウス、アンケート》
対象者：沿線自治体
団体代表者
地域住民
企業等

第３回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆地域から聴取した意見内容の確認
◆地域等の意見を踏まえた対応方針（案）

対応方針の決定（概略ルート、構造）

地　方　小　委　員　会

1-3. 前回審議内容＜九州地方小委員会(第1回)＞

●社会資本整備審議会　道路分科会　第１回九州地方小委員会（１回目）の概要

■実施日：令和元年９月１１日（水）
■主な議題
　①地域の現状と課題
　②政策目標（案）の設定
　③意見聴取方法について

●九州地方小委員会（１回目）での審議結果

審　議　結　果
・地域や道路の課題を踏まえた政策目標（案）や、意見聴取の内容・方法については、妥当と判断する。

1-4. 政策目標の設定

地域の現状と課題	道路による要因	政策目標
①暮らし ○沿線に役所や病院などが立地する２車線の幹線道路であり、走行性が課題。 ○交通事故が平面線形不良箇所に集中しており、安全性が課題。	○平面線形・縦断線形の厳しい箇所が多く、走行性や安全性が低い。	**①走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援**
②医療 ○山都町から熊本市内の重篤患者を受け入れる病院への管外搬送が多く、速達性が課題。 ○高齢の患者が多く、熊本市内への搬送は身体的負担となっており、走行性が課題。	○山都町から熊本市内への病院への速達性が低い。 ○線形不良箇所が多く、走行性が低い。	**②速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援**
③物流（農業・林業） ○夏秋トマトなど農産物の輸送時の荷痛みによる品質低下を防ぐため、速達性や走行性の確保が課題。 ○原木を積載したトラックの各拠点までの輸送時での急カーブなどによる荷崩れ及び転倒を防ぐため、走行性や安全性が課題。	○現道の速達性や走行性、安全性が課題。	**③速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援**
④観光 ○阿蘇くじゅう･高千穂地域では道路整備を活かして、阿蘇くじゅう観光圏整備計画との連携を進めている。 ○九州縦貫道や東九州道とのアクセスや隣接地域間の回遊性を高めるため、圏域外からの速達性や定時性の確保が課題。	○現道の速達性や定時性が課題。	**④速達性、定時性の確保による観光振興の支援**
⑤防災 ○熊本地震の発生時には、円滑な物資輸送に大きな影響を与えた。 ○災害時でも救護・物資輸送を果たす信頼性の高いネットワーク構築が課題。	○緊急輸送ルートである国道218号が脆弱。	**⑤災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築**

２．第１回意見聴取の概要

2-1. 第1回意見聴取の概要

■意見聴取期間

令和元年１１月１日（金）～令和２年１月３１日（金）

■意見聴取の実施状況

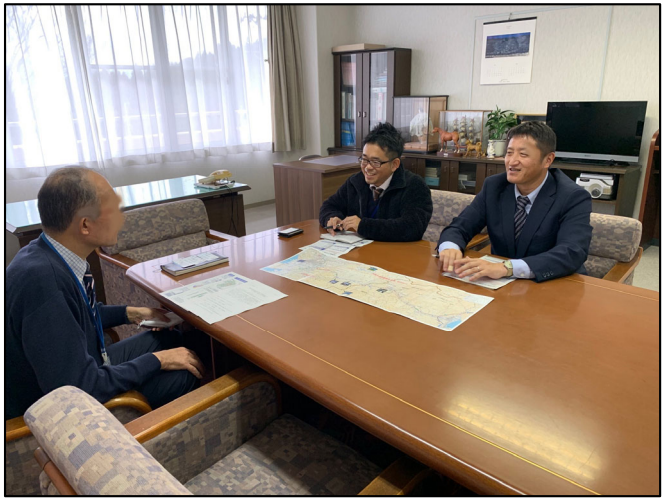
<table>
<tr><th>対象</th><th>意見聴取方法</th><th>実施期間</th><th>対象の詳細</th><th colspan="2">回収状況</th></tr>
<tr><td>自治体</td><td rowspan="3">ヒアリング</td><td rowspan="3">令和元年11月25日（月）
～12月31日（火）</td><td>熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町</td><td colspan="2">5自治体</td></tr>
<tr><td>団体等</td><td>商工会、JA、観光協会、警察署、消防署</td><td>15団体</td><td rowspan="2">全86票</td></tr>
<tr><td>企業</td><td>製造業、運輸、郵便、卸売・小売業、宿泊、
飲食サービス業、医療・福祉等</td><td>71社</td></tr>
<tr><td rowspan="4">地域住民・
広域的な
道路利用者</td><td>アンケート</td><td>令和元年11月1日（金）
～令和2年1月31日（金）</td><td>山都町　約6,520戸
五ヶ瀬町　約1,570戸
高千穂町　約4,700戸
（合計　約12,790戸）</td><td>7,560票</td><td rowspan="4">全8,565票</td></tr>
<tr><td>オープン
ハウス</td><td>【休日】:2日間
令和元年11月9日（土）
令和元年11月10日（日）
【平日】:5日間
令和元年11月11日(月)
令和元年11月12日（火）
令和元年11月13日（水）
令和元年11月14日（木）
令和元年11月15日（金）</td><td>計10箇所
道の駅「通潤橋」「清和文楽邑」
道の駅「そよ風パーク」「高千穂」
特産センター五ヶ瀬
五ヶ瀬町役場
高千穂町役場
山都町役場本庁
山都町役場清和支所
山都町役場蘇陽支所</td><td>909票</td></tr>
<tr><td>留置き</td><td>令和元年11月1日（金）
～11月30日（土）</td><td>道の駅「通潤橋」「清和文楽邑」「そよ風パーク」
「高千穂」
特産センター五ヶ瀬</td><td>4票</td></tr>
<tr><td>WEBアンケート</td><td>令和元年11月1日（金）
～令和2年1月31日（金）</td><td></td><td>92票</td></tr>
</table>

2-2. 第1回意見聴取の実施状況　～ヒアリング～

■ヒアリング実施状況

【団体（商工会）：山都町】

【団体（森林組合）：山都町】



【医療・福祉業：山都町】

【サービス業：山都町】

■対　象

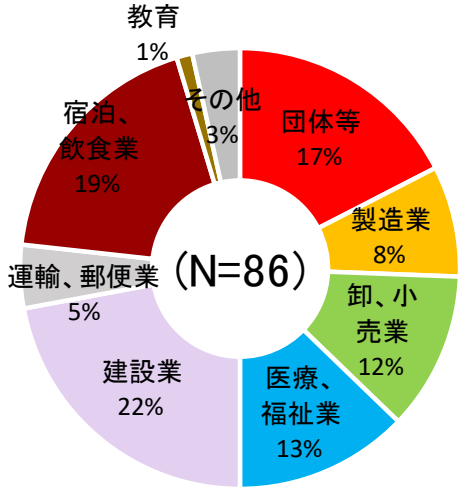
自治体：5自治体

団体等：15団体

企　業：71社

全：86票

■ヒアリング実施 団体・企業の内訳

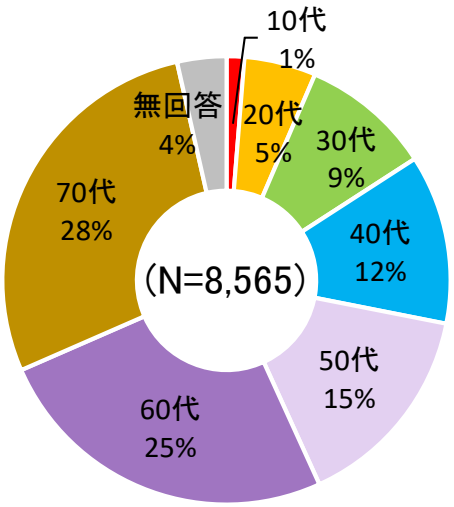


2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き・WEBアンケート～

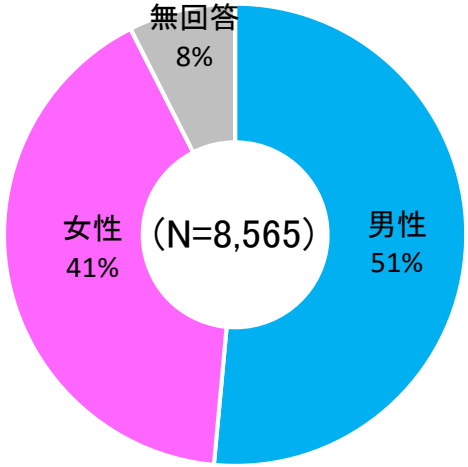
■回収票数は8,565票で、幅広い年代・性別の方から回答をいただいている。
■居住地は、対象地域である山都町、五ヶ瀬町、高千穂町で8割以上を占めているほか、九州地方内からの回答者が約1割いる。

■回答者の内訳

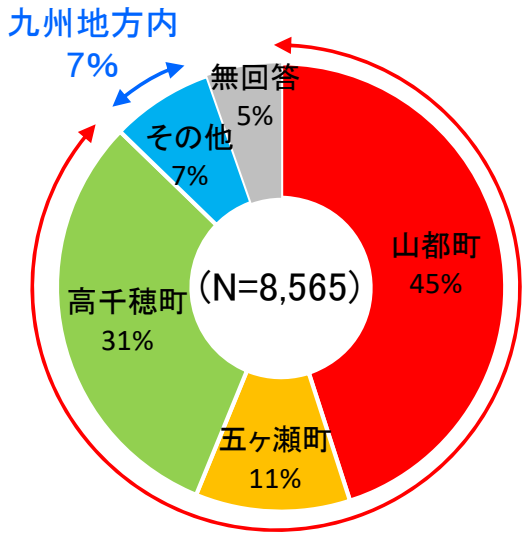
【　年代　】



【　性別　】



【　居住地　】



山都町、五ヶ瀬町、高千穂町
88%

※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート～

■住民アンケート実施内容

（表　面）

料金受取人払郵便

熊本北局承認
3438

差出有効期間
令和2年1月31日まで
（切手不要）

郵 便 は が き

8	6	1	8	7	9	0

熊本県熊本市東区西原1丁目12番地 1
熊本河川国道事務所
九州横断自動車道 延岡線（矢部～蘇陽）
計画段階評価　事務局　行

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

◆あなたご自身の事について【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所　①山都町　②五ヶ瀬町　③高千穂町　④その他（　　）

性別　①男性　②女性

年齢　①10 代　②20 代　③30 代　④40 代　⑤50 代　⑥60 代　⑦70 代以上

問1 普段、国道 218 号（矢部～蘇陽間）をどの程度利用していますか？（単一回答）

1. ほぼ毎日　2. 週に数回程度　3. 月に数回程度
4. ほとんど利用しない　5. 利用したことがない

問2 国道 218 号（矢部～蘇陽間）を通行する際の主な移動手段は何ですか？（単一回答）

1. 自動車　2. 公共交通　3. バイク　4. 自転車　5. 徒歩

問3 国道 218 号（矢部～蘇陽間）を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？（単一回答）

1. 通勤・通学　2. 仕事　3. 私用　4. その他
【　　】

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

（裏　面）

質問 4-1　国道 218 号（矢部～蘇陽間）について、5つの課題を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○を付けてください。（5段階評価）

番号	分類	課題（地域や道路交通の課題）	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
①	暮らし	急カーブが多く、安全性に不安を感じる					
②	医療	救急搬送時の患者への負担が大きい					
③	産業	急カーブが多く、産業活動に影響を与えている					
④	観光	観光地へのアクセス性や周遊性が悪い					
⑤	防災	災害発生時の道路の利用に不安を感じる					

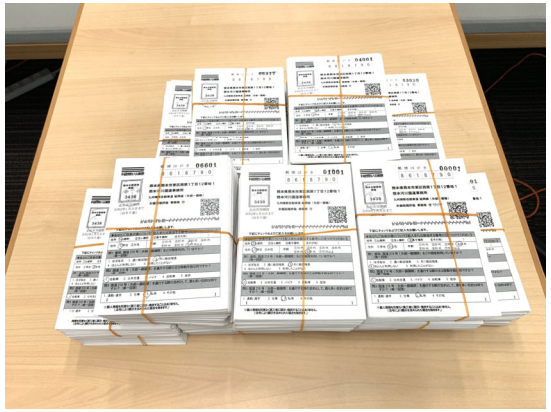
質問 4-2「問 4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。（自由回答）

番号	理由
①	
②	
③	
④	
⑤	

質問 4-3「問 4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的にご記入ください。（自由回答）

質問 5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。（自由回答）

■住民アンケート調査票・回収状況



（回収ハガキ）

対象	地域住民
配布	山都町　約6,520戸 五ヶ瀬町　約1,570戸 高千穂町　約4,700戸
意見聴取数	7,560票
期間	令和元年11月1日（金） ～令和2年1月31日（金）

2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～オープンハウス・留置き～

■オープンハウス実施状況

＜平日＞

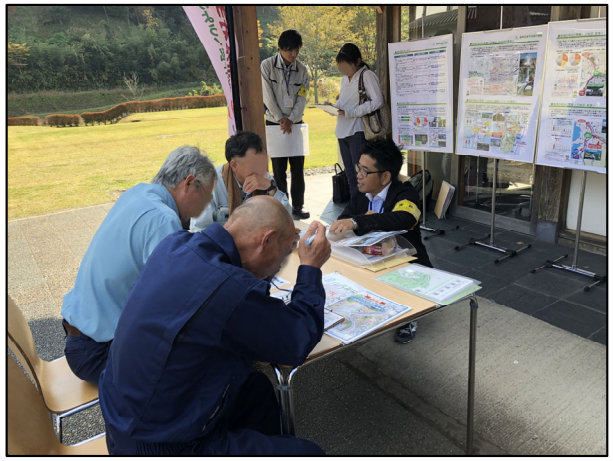
【令和元年11月13日（水）山都町役場本庁】

【令和元年11月14日（木）清和支所】

対象	地域住民
会場	・山都町役場本庁　・清和支所 ・蘇陽支所 ・五ヶ瀬町役場　・高千穂町役場 ・道の駅「通潤橋」 ・道の駅「清和文楽邑」 ・道の駅「そよ風パーク」 ・道の駅「高千穂」 ・特産センター五ヶ瀬
意見聴取数	909票
期間	【平日】:5日間 令和元年11月11日（月）～15日（金） 【休日】:2日間 令和元年11月9日（土）、10日（日）

＜休日＞

【令和元年11月9日（土）　山都町
道の駅「通潤橋」】



【令和元年11月9日（土）　山都町
道の駅「清和文楽邑」】

【令和元年11月10日（日）　山都町
道の駅「そよ風パーク」】

2-3. 第1回意見聴取の実施状況　～留置き～

■アンケート回収ボックスの設置

＜留置き＞

対　象	広域的な道路利用者
設置個所	道の駅4箇所、特産センター
意見聴取数	4票
期間	令和元年11月1日（金）～30日（土）

特産センター五ヶ瀬

道の駅「通潤橋」

道の駅「そよ風パーク」

＜ポスター＞

2-4．第1回意見聴取の概要　～広報～

①ホームページ：国土交通省熊本河川国道事務所ホームページに意見聴取のページ（記者発表）を開設
②広報ポスター・チラシ：町役場、道の駅等にポスターを掲示、広報チラシを配布
③地域への情報提供：防災無線、役場内の館内放送でオープンハウスの告知（山都町）
④広報誌：広報誌に掲載

①ホームページ（R1.10.31記者発表）

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和元年１０月３１日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

記者発表資料

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

- 「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価※の手続きを進めております。
- 「九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）」について、今回、道路整備の計画検討を進めるため、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等について、ご意見をお聞かせください。
- 地域住民の皆様や沿線自治体及び企業を対象としたアンケート調査やヒアリング等を１１月１日より実施します。
- また、地域の皆様のご意見を幅広く伺うことを目的に“オープンハウス（パネルの展示と合わせ、スタッフが説明）”も実施します。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。

※　計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

【アンケート調査】
調査対象　熊本県上益城郡山都町、宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町、高千穂町にお住まいの全世帯
実施期間　令和元年１１月１日（金）～令和２年１月末日まで

【ヒアリング】
調査対象　熊本県上益城郡山都町、宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町、高千穂町等、沿線自治体及び団体、企業を対象に抽出
実施期間　令和元年１１月１日（金）～令和２年１月末日まで

【オープンハウス】
令和元年１１月　９日（土）　道の駅「通潤橋」、道の駅「清和文楽邑」
令和元年１１月１０日（日）　道の駅「そよ風パーク」、道の駅「高千穂」、特産センター五ヶ瀬
令和元年１１月１１日（月）　五ヶ瀬町役場
令和元年１１月１２日（火）　高千穂町役場
令和元年１１月１３日（水）　山都町役場 本庁
令和元年１１月１４日（木）　山都町役場 清和支所
令和元年１１月１５日（金）　山都町役場 蘇陽支所
※開催時間は、各会場ともに土日 10:00～16:00　平日 9:00～16:00

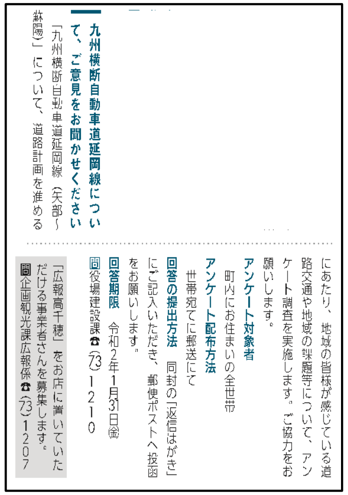
また、オープンハウス開催中は、道の駅（「通潤橋」、「清和文楽邑」、「そよ風パーク」、「高千穂」）、特産センター五ヶ瀬において、アンケートブースを設置しています。
※オープンハウスについて台風等、荒天が予想される場合は延期とし、オープンハウス前日の17時までに熊本河川国道事務所のホームページでお知らせします。

＜問い合わせ先＞
国土交通省　九州地方整備局　熊本河川国道事務所
技術副所長　麻生　宏斉
調査第二課長　元水　昭太
TEL ０９６－３８２－１２４２（直通）

②広報ポスター・チラシ

山都町蘇陽支所

④広報誌



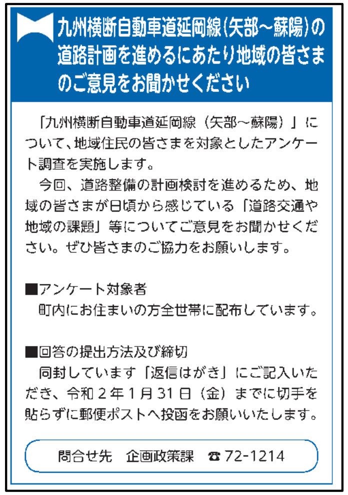
九州横断自動車道延岡線について、ご意見をお聞かせください

「九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）」について、道路計画を進めるにあたり、地域の皆様が感じている道路交通や地域の課題等について、アンケート調査を実施します。ご協力をお願いします。

アンケート対象者　町内にお住まいの全世帯
アンケート配布方法　世帯宛てに郵送にて
回答の提出方法　同封の「返信はがき」にご記入いただき、郵便ポストへ投函をお願いします。
回答期限　令和2年1月31日(金)
問役場建設課☎(73)1210

「広報高千穂」をお店に置いていただける事業者さんを募集します。
問企画観光課広報係☎(73)1207

広報誌（高千穂町）



九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）の道路計画を進めるにあたり地域の皆さまのご意見をお聞かせください

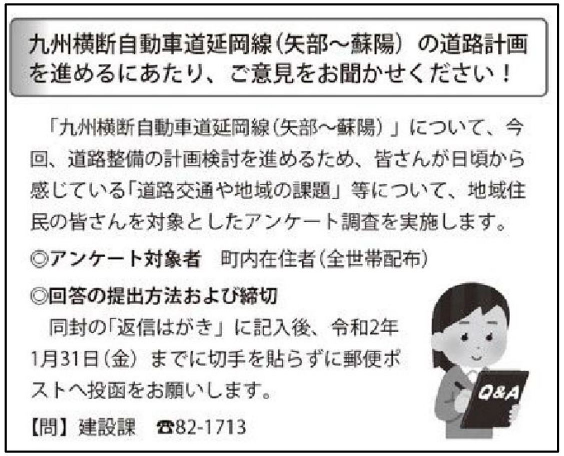
「九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）」について、地域住民の皆さまを対象としたアンケート調査を実施します。
今回、道路整備の計画検討を進めるため、地域の皆さまが日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

■アンケート対象者
町内にお住まいの方全世帯に配布しています。

■回答の提出方法及び締切
同封しています「返信はがき」にご記入いただき、令和２年１月31日（金）までに切手を貼らずに郵便ポストへ投函をお願いいたします。

問合せ先　企画政策課　☎72-1214

広報誌（山都町）



九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）の道路計画を進めるにあたり、ご意見をお聞かせください！

「九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）」について、今回、道路整備の計画検討を進めるため、皆さんが日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等について、地域住民の皆さんを対象としたアンケート調査を実施します。

◎アンケート対象者　町内在住者（全世帯配布）

◎回答の提出方法および締切
同封の「返信はがき」に記入後、令和2年1月31日（金）までに切手を貼らずに郵便ポストへ投函をお願いします。

【問】建設課　☎82-1713

広報誌（五ヶ瀬町）

３．第１回意見聴取の結果

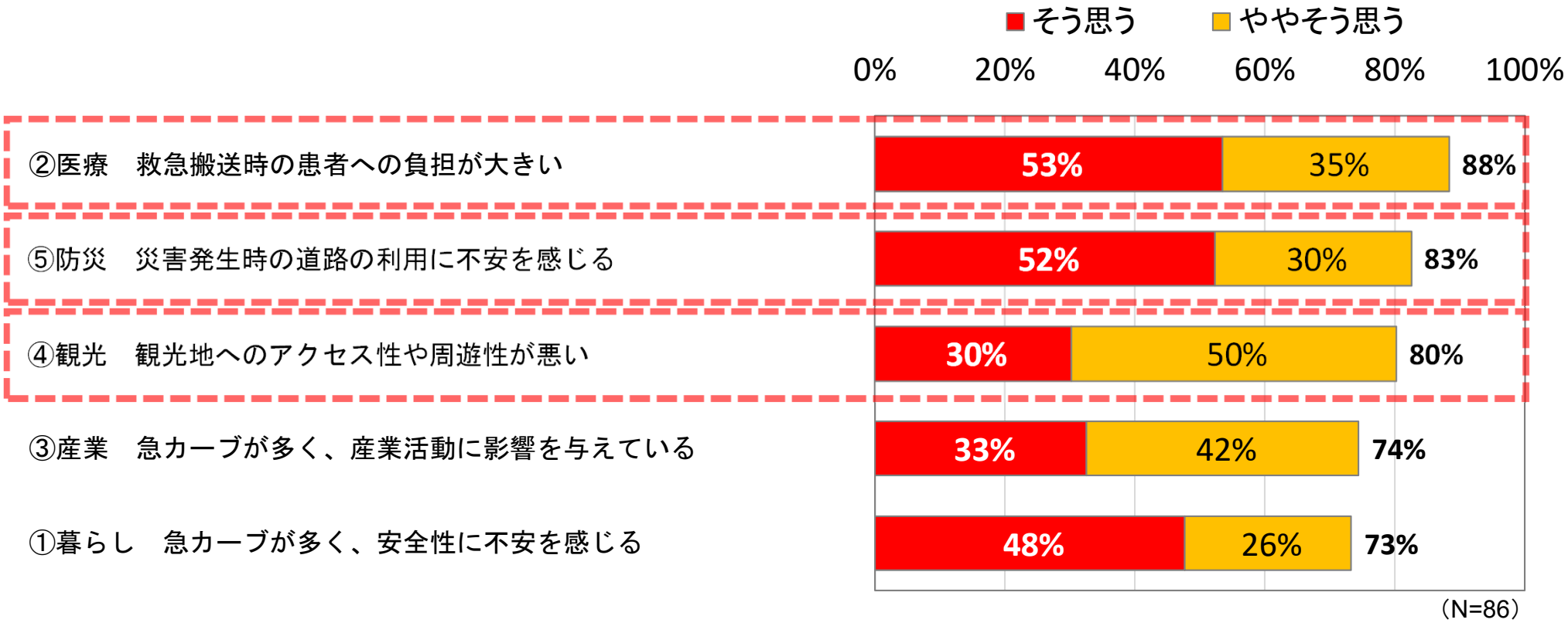
3-1. 第1回意見聴取の結果

■団体・企業（ヒアリング）

■特に、「②医療　救急搬送時の患者への負担が大きい」「⑤防災　災害発生時の道路の利用に不安を感じる」「④観光　観光地へのアクセス性や周遊性が悪い」について課題意識が高く、8割以上の団体・企業が『そう思う』『ややそう思う』と回答。

【質問】国道218号（矢部～蘇陽間）に関する5つの課題を5段階評価（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）で評価してください。

【回答】 団体・企業ヒアリング　86票



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

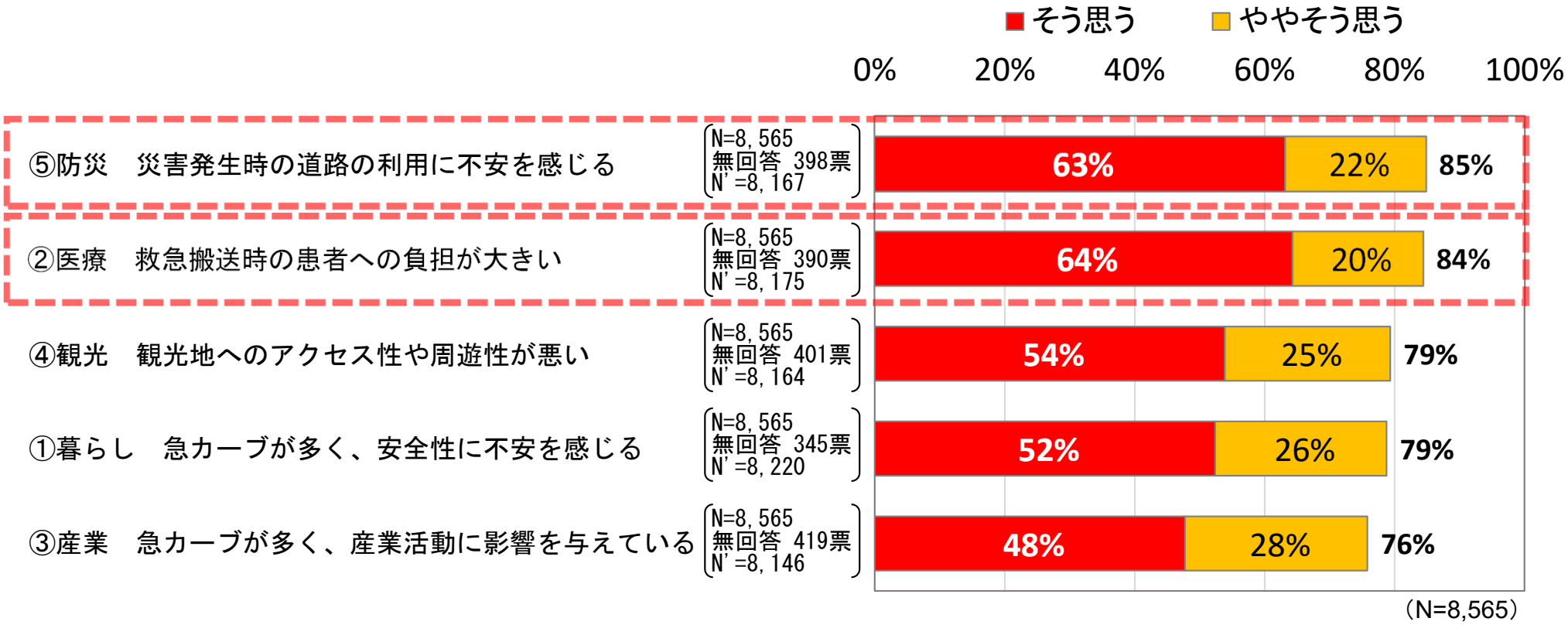
3-2. 第1回意見聴取の結果

■地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き・WEBアンケート）

■全ての項目について、7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
■特に、「⑤防災　災害発生時の道路の利用に不安を感じる」「②医療　救急搬送時の患者への負担が大きい」に対する課題意識が高く、8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。

【質問】国道218号（矢部～蘇陽間）に関する5つの課題を5段階評価（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）で評価してください。

【回答】 地域住民　8,565票



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

3-3. 第1回意見聴取の結果＜その他意見、要望＞

■その他の課題については、「高速道路の早期開通」や「道路構造に対する不満」、「災害時の不安感」等について課題だとする意見が寄せられた。
■自由意見については、高速道路の早期開通を望む意見が多い中で、インターチェンジの位置についての意見も寄せられた。

【質問】
・5つの課題以外であなたが思う課題はなんですか。（意見数1,396件）

■命に関わることには、高速道路が重要。
■冬場の積雪及び凍結。（従業員が遅刻したり会社まで来れなかったりすることがある）。
□中央道整備が進まないと観光や流通でのスケールメリットを発揮しきれない。もったいない。南海トラフ巨大地震の懸念もあり、一日も早い整備は多くのメリットがあると思う。
□道幅が狭い所では大型車がセンターラインを越えて対面走行するため、危険を感じる時がある
□救急車で配送された際に、カーブが多く、気分が悪くなり、又すごく病院まで遠く感じた。
□大動脈が218号線のみの為土砂崩れが気になる
□大きな災害が発生すればライフラインが寸断され、陸の孤島となる

【質問】
・その他ご意見がありましたらお聞かせください。（意見数1,554件）

■矢部蘇陽間が整備されれば、職員の通勤に役に立つと思う。地域経済のためにも高速道路があれば良い効果があると思う。
■高速開通されれば、熊本方面まで通勤距離が拡大し、雇用も活性化される。高速によるメリットデメリットあるが、時間はあるのでそれぞれの町や自治体で対応を考える。
□自分たちにとって中央道は「物流の道」「防災の道」「命の道」である。早期完成を願う
□早期開通を切に願います。私たちの安心安全な生活に必要不可欠です。山村地域は道路1本で生まれ変われますので、地域活性のためにも九州横断自動車道に期待します。
□「不便」を不便のままにしておくべきではない。清和にも蘇陽にもインターチェンジ設置を望む
□高速道路は国道の近くで、ICが街につながるようにしてほしい

■：団体・企業ヒアリング　　□：住民アンケート・オープンハウス・留置き・WEBアンケート

3-4. 第1回意見聴取の結果＜自治体への意見聴取結果＞

■自治体

■全自治体から、「医療」に関する意見が寄せられており、「迅速な治療が受けられない」といった意見が寄せられた。
■その他、「災害発生時の迂回路の確保」「農産物の迅速な輸送」「観光客の周遊性を高める」などの意見が寄せられた。

（自治体からの主な意見）

熊本県	・1時間を超える長時間の搬送や搬送時の揺れが患者の負担となっている状況のため、救急医療施設への**速達性・走行性の確保**が課題 ・現道は脆弱かつ、代替路がない状況であるため、災害時にも機能する**信頼性の高い道路ネットワークの確保が課題**である。 ・本路線の整備は、新しい人の流れや経済の流れを生み出し、観光振興、地域産業の支援につながる「**経済の道**」として、また沿道地域の地域活性化につながる「**地方創生の道**」として期待している。
宮崎県	・九州東進作戦の重要な九州の横断軸となる**国道218号が脆弱**である。 ・人命救助や救援物資の輸送等を円滑かつ迅速に行うための**「命の道」として必要不可欠な道路**であり、宮崎県側も含めた早期全線開通が必要である。
山都町	・事故件数割合も県内国道に比べて高いが、山都町の東西を結ぶ唯一の国道であるため**安全性の確保が不可欠**である。 ・国道218号線は**急カーブ・急勾配が多数存在し、迅速な治療を受ける必要がある場合に負担**となる。 ・山都町では農産物のブランド化と販路拡大に取り組んでおり消費者への距離を縮めるために**迅速な輸送が不可欠**である。
五ヶ瀬町	・平面、縦断ともに線形が悪いため、**搬送時の患者への負担が大きく、搬送にも時間を要している**。 ・矢部～蘇陽間の開通は**利便性が大きく向上**するもので、**若者の町外流出にも歯止め**をかけられるのではないかと考える。
高千穂町	・熊本市内への**病院への転院搬送に時間がかかり、患者への負担**が大きい。 ・阿蘇くじゅう広域観光圏からの誘客を図り、**隣接地域間の周遊性を高めるためにも高速道路が必要。** ・熊本地震の発生時には、各地で道路が寸断され、改めて高速道路の必要性を感じた。南海トラフ地震の発生も危惧されており、**防災という観点からも高速道路が必要**である。

４．複数案の設定

4-1. 政策目標の設定＜政策目標の検証＞

■意見聴取結果による政策目標の検証

■地域の課題に対する意見聴取結果では、全ての項目で約8割が『そう思う』『ややそう思う』と回答があり、設定した政策目標の妥当性を確認した。
■以上より、5つの政策目標を効率的かつ効果的に実現するために道路整備を実施。

【政策目標】走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援

（課題：急カーブが多く、安全性に不安を感じる）
について約８割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

【政策目標】速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援

（課題：救急搬送時の患者への負担が大きい）
について約８割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

【政策目標】速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援

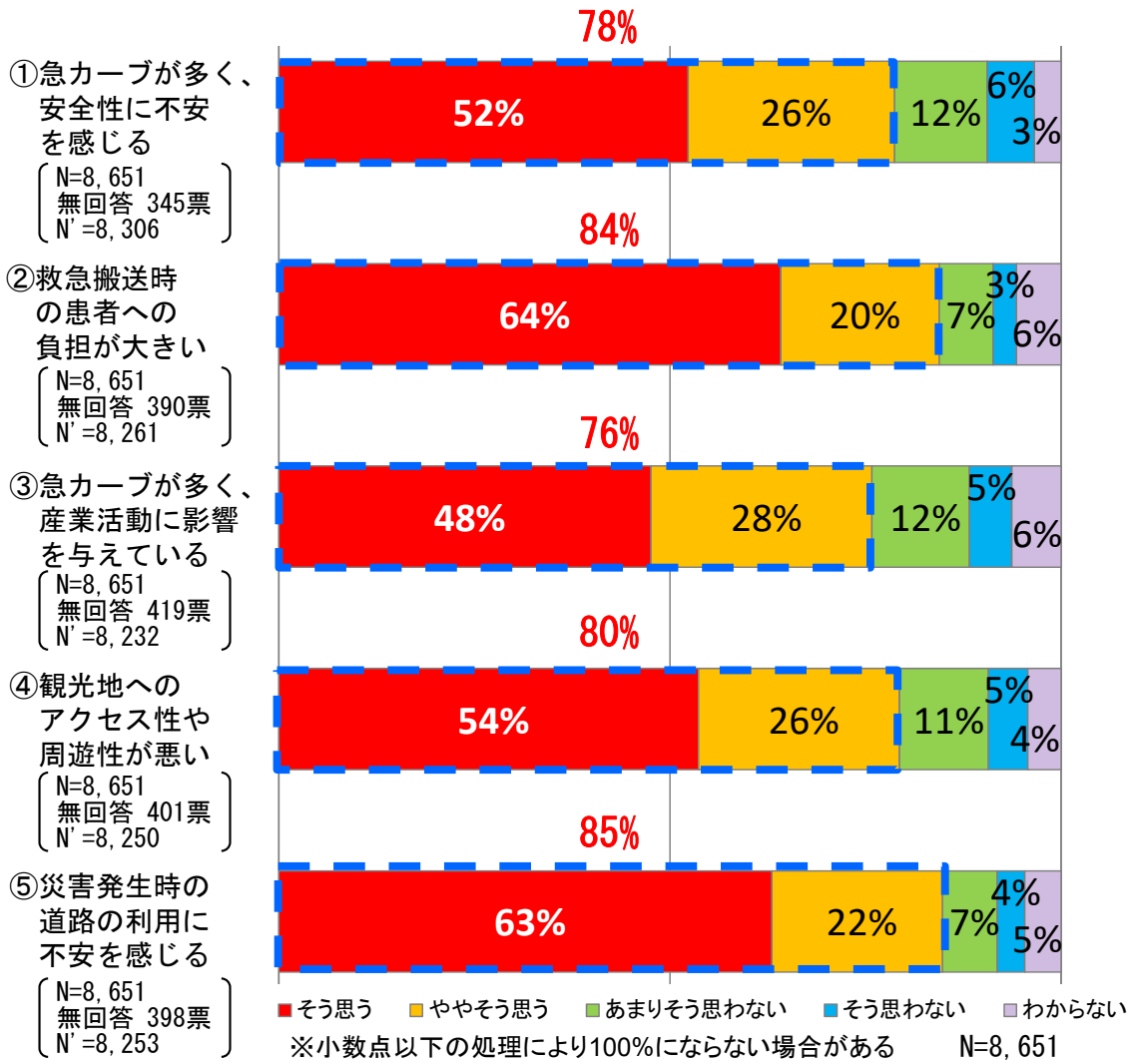
（課題：急カーブが多く、産業活動に影響を与えている）
について約８割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

【政策目標】速達性、定時性の確保による観光振興の支援

（課題：観光地へのアクセス性や周遊性が悪い）
について約８割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

【政策目標】災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

（課題：災害発生時の道路の利用に不安を感じる）
について約９割が『そう思う』『ややそう思う』と回答



4-2. 政策目標の設定＜対策案の検討＞

■政策目標の設定

■地域の現状と課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定しこれらの目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

政策目標
1. 走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援
2. 速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援
3. 速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援
4. 速達性、定時性の確保による観光振興の支援
5. 災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

■対策案の検討

【暮らし】
走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援

【医　療】
速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援

【物　流】
速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援

【観　光】
速達性、定時性の確保による観光振興の支援

【防　災】
災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

基本コンセプト：災害時に機能する信頼性の高いネットワークを構築するとともに、熊本市方面や延岡市方面への走行性、速達性の向上や定時性の確保を図り、産業の活性化や観光の振興、生活利便性の向上、救急医療活動の支援を目指す。

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

- 【生活環境、自然環境の保全と調和】
- 【沿道利用、周辺家屋への配慮】
- 【施工性、段階的な整備効果】
- 【経済性への配慮】

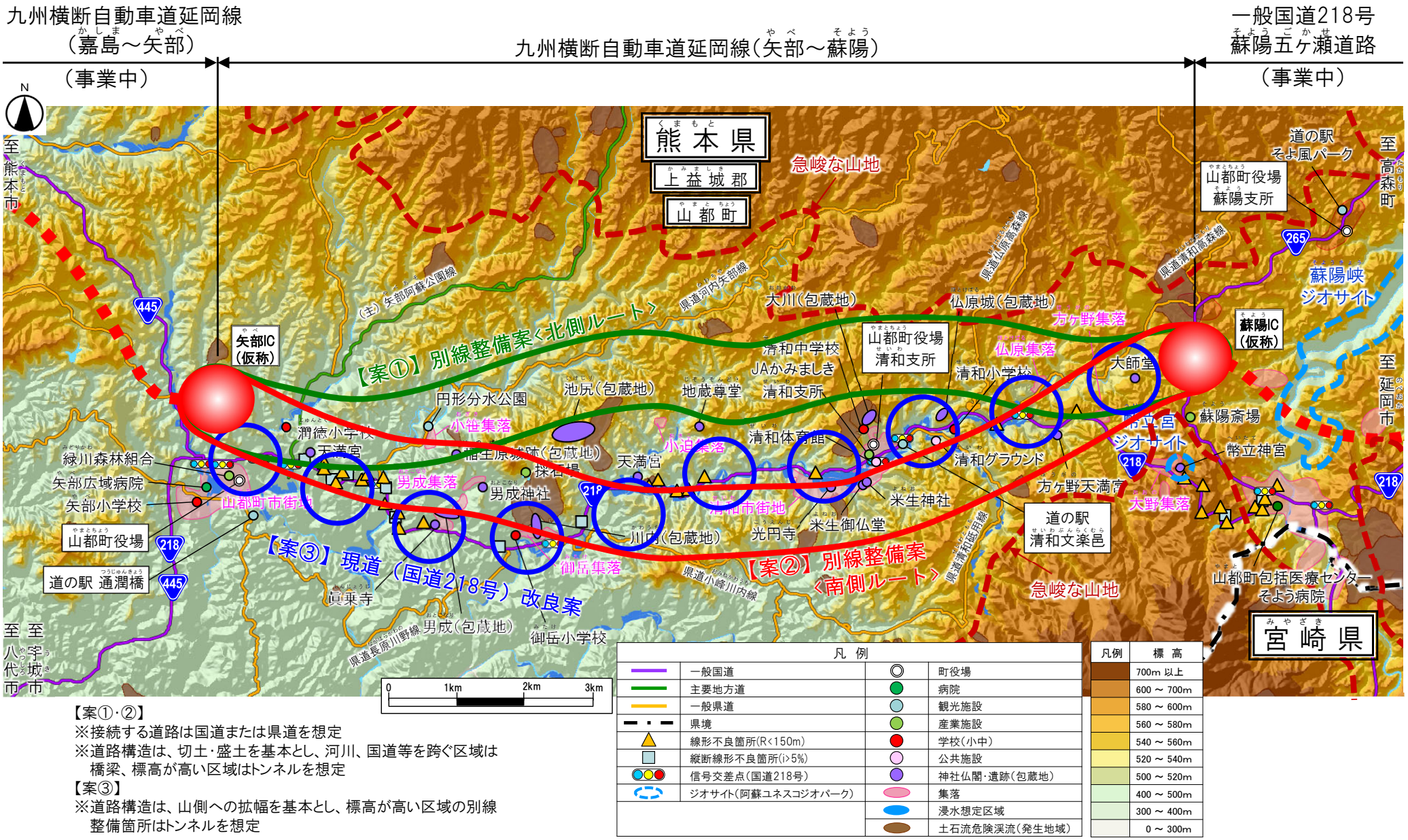
既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

4-3. 複数案の設定＜ルート帯案選定にあたってのコントロールポイント＞

■矢部～蘇陽には、土砂災害危険箇所等の配慮すべき箇所や、役所や病院、集落、産業施設等へのアクセスすべき箇所などのコントロールポイントが存在する。

4-4. 複数案の設定＜ルート帯案の概要＞

・【案①】別線整備案<北側ルート>：最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
・【案②】別線整備案<南側ルート>：集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
・【案③】現道（国道218号）改良案：国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案



【案①・②】
※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道等を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定
【案③】
※道路構造は、山側への拡幅を基本とし、標高が高い区域の別線整備箇所はトンネルを想定

凡例			
	一般国道		町役場
	主要地方道		病院
	一般県道		観光施設
	県境		産業施設
	線形不良箇所(R<150m)		学校(小中)
	縦断線形不良箇所(i>5%)		公共施設
	信号交差点(国道218号)		神社仏閣・遺跡(包蔵地)
	ジオサイト(阿蘇ユネスコジオパーク)		集落
			浸水想定区域
			土石流危険渓流(発生地域)

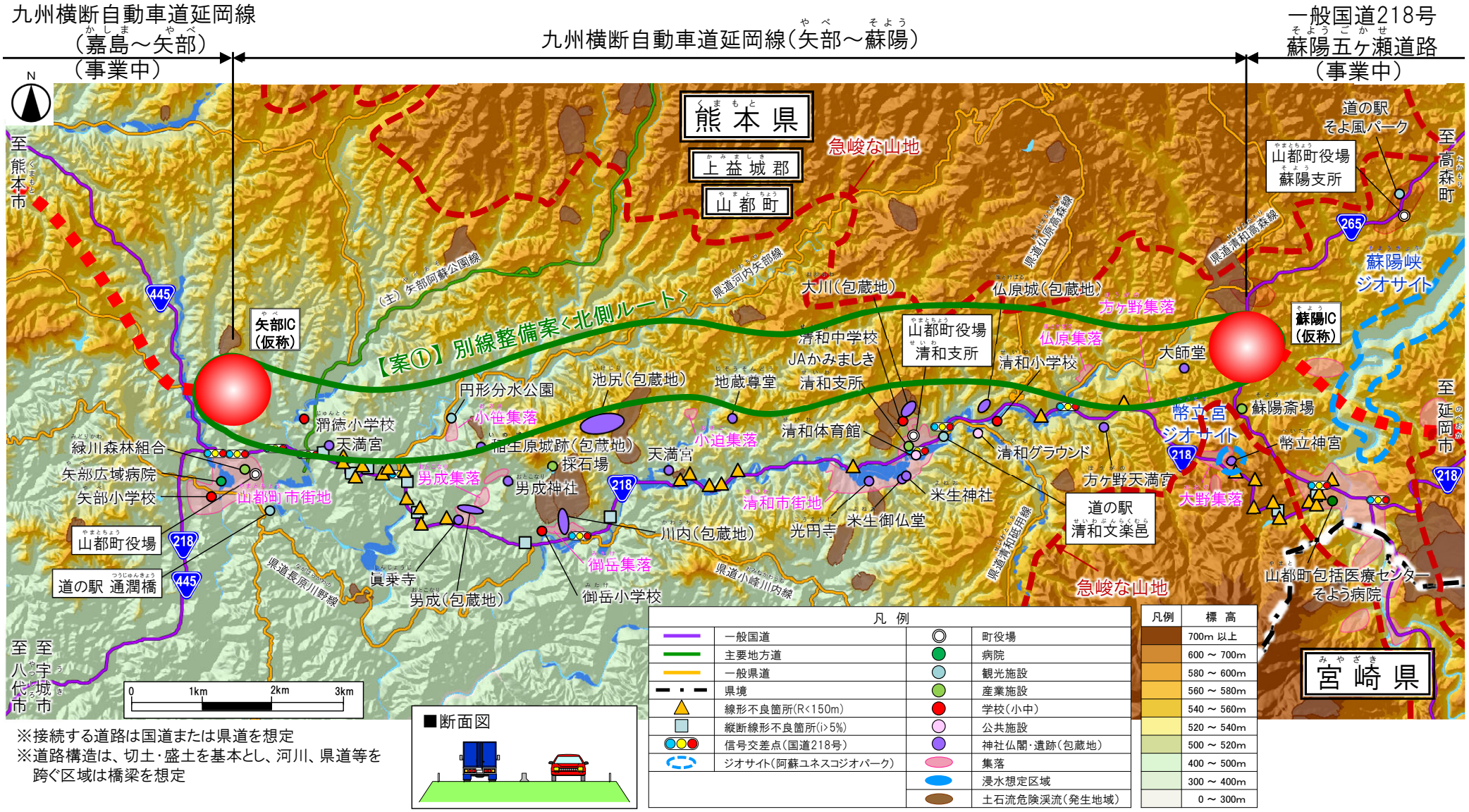
凡例	標高
	700m 以上
	600 ～ 700m
	580 ～ 600m
	560 ～ 580m
	540 ～ 560m
	520 ～ 540m
	500 ～ 520m
	400 ～ 500m
	300 ～ 400m
	0 ～ 300m

4-4. 複数案の設定＜ルート帯案の概要＞　【案①】別線整備案<北側ルート>

◆【案①】別線整備案<北側ルート>　：　最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案

■ポイント

・別線で、矢部IC(仮称)～蘇陽IC(仮称)を土石流危険渓流や集落分断を回避しながら最短で接続する。
・中間ICの設置を想定しているが、国道218号や集落・産業施設から離れており、アクセスに時間を要する。
・国道218号から離れた位置の通過、主要な幹線道路との交差がなく、施工時の工事進入がしづらく、整備に時間がかかる。



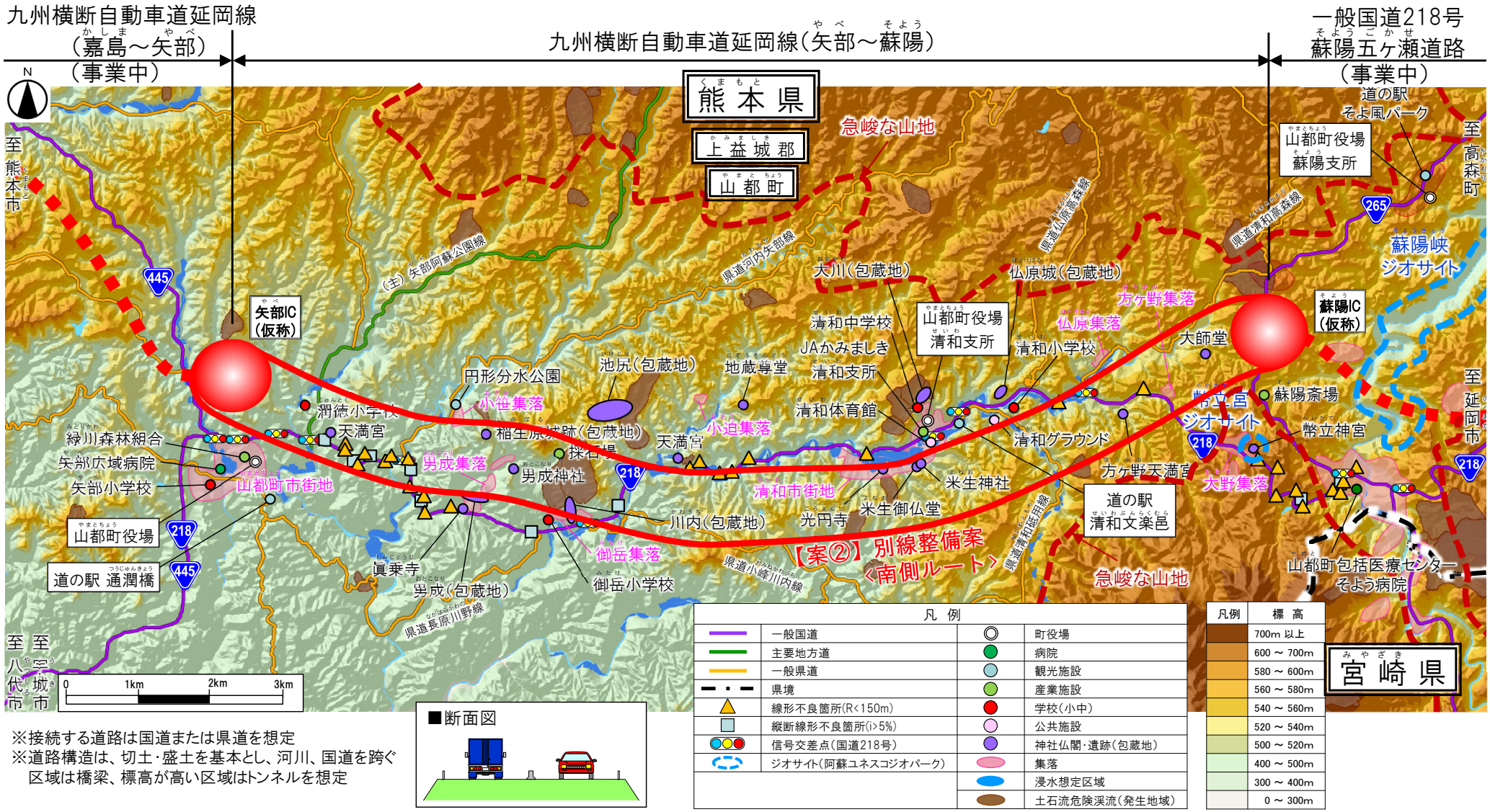
※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、県道等を跨ぐ区域は橋梁を想定

4-4. 複数案の設定＜ルート帯案の概要＞　【案②】別線整備案<南側ルート>

◆【案②】別線整備案<南側ルート>：集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案

■ポイント

・別線で、矢部IC（仮称）～蘇陽IC（仮称）において、土石流危険渓流を構造物により回避し、集落や産業施設に配慮しながら接続する。
・中間ICの設置を想定しているため、国道218号や集落、産業施設からのアクセス性が高い。
・国道218号や主要な幹線道路付近を通過するため、施工時の工事進入が容易で、整備に時間はかからない。



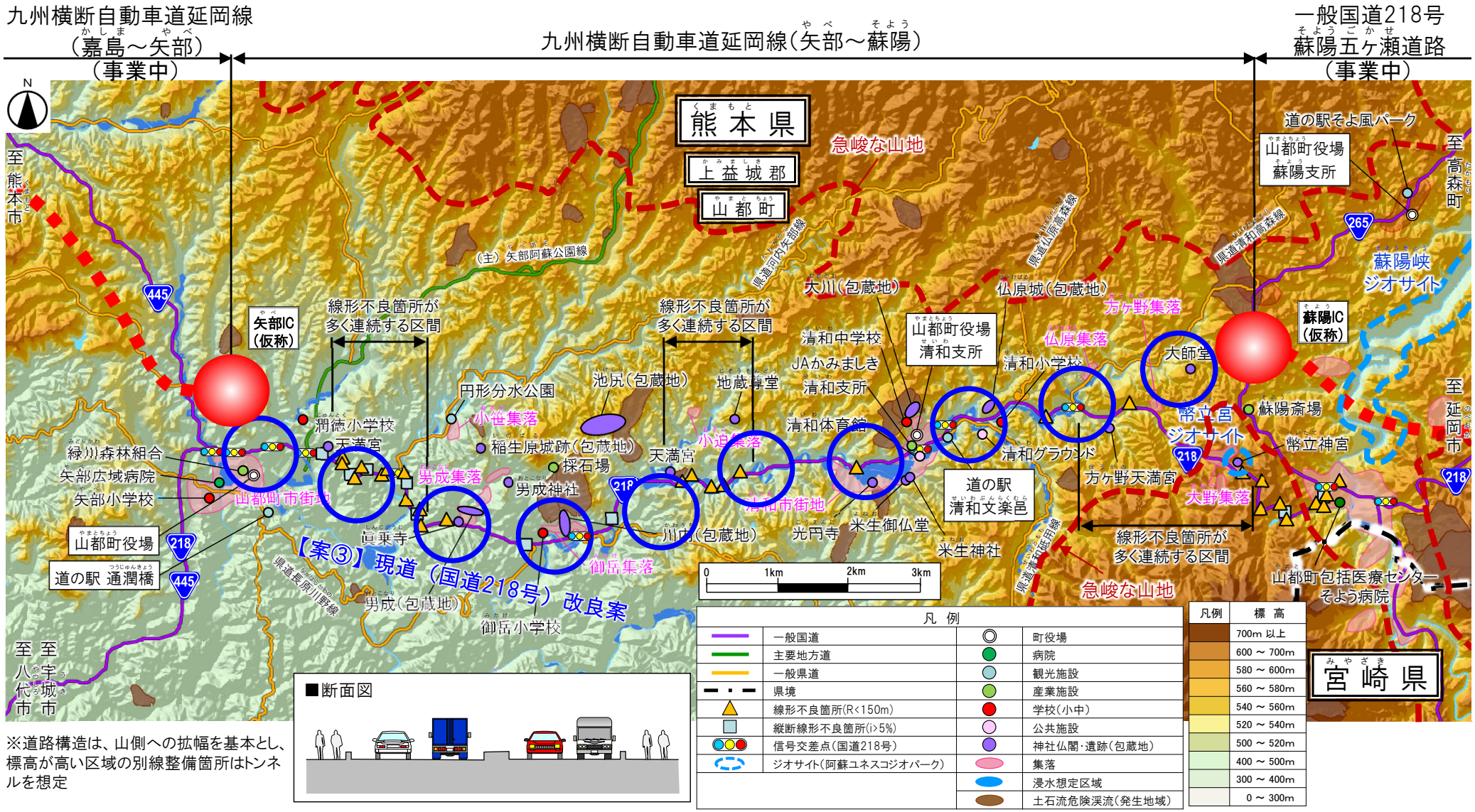
※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定

4-4. 複数案の設定＜ルート帯案の概要＞　【案③】現道（国道218号）改良案

◆【案③】現道（国道218号）改良案　：　国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案

■ポイント

・国道218号を改良し、線形不良箇所が多く連続する区間は別線で整備しながら、矢部IC（仮称）～蘇陽IC（仮称）を接続する。
・集落、施設からの直接乗り入れが可能であり、アクセス性が最も高くなる。
・国道218号の沿道には隣接する家屋があり、生活環境への影響が最も大きい。



※道路構造は、山側への拡幅を基本とし、標高が高い区域の別線整備箇所はトンネルを想定

4-5. 複数案の設定＜ルート帯案の比較評価＞

評価項目					【案①】別線整備案<北側ルート>	【案②】別線整備案<南側ルート>	【案③】現道（国道218号）改良案
項目				評価指標	最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案	集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案	国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案
					延長　約14ｋｍ 自動車専用道路タイプ （設計速度:80ｋｍ/ｈ）	延長　約15km 自動車専用道路タイプ （設計速度:80ｋｍ/ｈ）	延長　約16ｋｍ 一般道路タイプ （設計速度:60ｋｍ/ｈ）
政策目標	暮らし	①	走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援	現道（国道218号）の走行性、安全性	・別線整備により、線形不良箇所をすべて回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・別線整備により、線形不良箇所をすべて回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・現道の線形不良箇所を改良し、走行性、安全性は向上するが、交差点が存在するため他案より劣る
政策目標	医療	②	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	沿線地域※1から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への搬送時間	・第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる	・第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる	・第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られるが、案①、案②より劣る
政策目標	医療	②	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	沿線地域※2から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への安静搬送（走行性）	・別線整備により、現道（国道218号）の線形不良箇所や信号交差点を回避でき、安静搬送(走行性)の向上が見込まれる ・国道218号から離れた位置を通過するためアクセス性が低く、町道を経由した搬送となることから、安静搬送(走行性)は案②より劣る	・別線整備により、現道（国道218号）の線形不良箇所や信号交差点を回避でき、安静搬送(走行性)の向上が見込まれる ・国道218号から近い位置を通過するためアクセス性が高く、国道218号から直接搬送できることから、安静搬送(走行性)が向上する	・現道（国道218号）の線形不良箇所を回避するが、信号交差点は1箇所のみの回避となるため安静搬送(走行性)の向上は案①、案②より劣る
政策目標	物流	③	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	沿線地域の産業施設※3から熊本市内の積替え拠点までの移動時間	・熊本方面への移動時間の短縮が図られるが、案②より劣る	・熊本方面への移動時間の短縮が最も図られる	・熊本方面への移動時間の短縮が図られるが、案②より劣る
政策目標	物流	③	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	沿線地域の産業施設※4から熊本市内の物流集積拠点までの走行性、安全性	・別線整備により、現道の線形不良箇所を回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・別線整備により、現道の線形不良箇所を回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・現道の線形不良箇所を改良し、安全性は向上するが、交差点が存在するため走行性の面で案①、案②より劣る
政策目標	観光	④	速達性、定時性の確保による観光振興の支援	熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間の短縮が図られる	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間の短縮が図られる	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間の短縮は図られるが、案①、案②より劣る
政策目標	防災	⑤	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能の確保	・別線整備により代替路が確保される ・国道218号から離れた位置を通過するため、指定避難所(山都町清和支所)からのアクセス性が低い	・別線整備により代替路が確保される ・国道218号から近い位置を通過するため、指定避難所(山都町清和支所)からのアクセス性が高い	・現道利用のため代替路が確保されない
道路整備による影響	⑥		生活環境	大気質、騒音等	・現道から最も離れた位置を通過するため、生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性は最も小さい	・一部集落付近を通過するため、生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性は案③より小さい	・現道周辺の集落付近を通過するため、生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性が大きい
道路整備による影響	⑦		自然環境	動物の生息地、植物の生育地への影響	・別線整備により、地形改変を伴い、動植物の生息地へ影響を与える可能性がある	・別線整備により、地形改変を伴い、動植物の生息地へ影響を与える可能性がある	・現道改良のため地形改変は他案に比べて少なく、動植物の生息地へ影響を与える可能性が低い
道路整備による影響	⑧		集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	・集落・市街地を概ね回避するため、家屋の移転等は最も少ない	・集落の周辺を通過するが、案③に比べて移転数は少ない	・沿道に隣接する家屋が多く、移転数は最も多い
道路整備による影響	⑨		沿道利用	周辺からのアクセス利用	・国道218号沿線の集落・施設等からのアクセス性が低い	・国道218号沿線の集落・施設等からのアクセス性は高いが案③に劣る	・国道218号沿線の集落・施設等からのアクセス性が高い
道路整備による影響	⑩		施工性	現道交通への影響、施工期間	・別線整備のため、現道交通への影響は少ない ・国道218号から離れた位置を通過するため、工事用進入路、仮設、仮橋設置などの追加工事による施工期間が長くなる	・別線整備のため、現道交通への影響は少ない ・国道218号から近い位置を通過するため、工事用進入路、仮設、仮橋設置などの追加工事による施工期間は短くなる	・現道交通を確保しながらの改良とするが、切り回しなどの影響で現道交通への影響が生じる
道路整備による影響	⑪		段階的な効果の発現	発現の時期	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる
道路整備による影響	⑫		コスト	整備に要する費用	約1,150～1,250億円	約950～1,050億円	約1,050～1,150億円

※1…沿線地域:山都町蘇陽支所
※2…沿線地域:案①～③の上段_山都町蘇陽支所、案①と案②の下段_山都町清和支所
※3…沿線地域の産業施設:JAかみましき清和支所
※4…沿線地域の産業施設:西臼杵森林組合（五ヶ瀬町）

5．第2回意見聴取の方法（案）

5-1. 第2回意見聴取（案）の概要

■意見聴取の項目と活用方針

■第2回意見聴取は、地域がより重視する政策目標や配慮事項に関して評価指標等を用いて意見を伺い、ルート帯やインターチェンジの接続位置等、対応方針（案）の検討の参考とする。

○アンケートの設問の設定（一部抜粋）

＜政策目標＞	アンケートにおける質問事項
【暮らし】 走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援 評価指標：現道（国道218号）の走行性、安全性	＜比較ルート帯案（複数案）に対する意見＞ **問：熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと** ＜インターチェンジの接続位置に対する意見＞ **問：集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること**
【医療】 速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援 評価指標：沿線地域から熊本市内の第三次医療施設（済生会病院）への搬送時間 沿線地域から熊本市内の第三次医療施設（済生会病院）への安静搬送（走行性）	＜比較ルート帯案（複数案）に対する意見＞ **問：熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること** **問：熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと** ＜インターチェンジの接続位置に対する意見＞ **問：集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること**

＜配慮事項＞	アンケートにおける質問事項
【生活環境、自然環境の保全と調和】	**問：生活環境（騒音など）への影響が小さいこと** **問：自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと**
【沿道利用】	**問：沿道からの利用がしやすいこと**

5-2. 第2回意見聴取方法について

■意見聴取の方法

■意見聴取は、沿線自治体、団体および企業等へのヒアリング、地域住民へのアンケートに加え、オープンハウス、留置きを実施予定。

※１　ヒアリングは、沿線自治体および団体や企業等へ対面方式で意見聴取。

※２　アンケートは、地域の全世帯にアンケート用紙を配布し、意見聴取。
（１世帯あたり、アンケート回答用返信はがきを４枚同封予定）

※３　オープンハウスは、町役場等での説明。アンケート票による意見聴取。

※４　留置きは、沿線地域の道の駅等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取。

■意見聴取範囲

対　象　者			
ヒアリング ※１	【沿線自治体】熊本県・山都町・宮崎県・五ヶ瀬町・高千穂町への意見聴取		
		沿線自治体：熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町	5自治体
	【団体・企業等】熊本県・宮崎県の関係市町村の関係企業への意見聴取		
		各団体等：トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、農協、観光協会　等 各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉　　等	100団体・企業程度
アンケート ※２	【地域住民】山都町・五ヶ瀬町・高千穂町の全世帯を対象とし、アンケート用紙を配布し意見聴取		
		山都町（約6,520世帯、約14,800人）	約6,520部（全世帯）
		五ヶ瀬町（約1,570世帯、約3,800人）	約1,570部（全世帯）
		高千穂町（約4,700世帯、約12,800人）	約4,700部（全世帯）
オープンハウス （ヒアリング） ※３	【地域住民】沿線の山都町役場等にオープンハウスを設置し、アンケート票による意見聴取		
		山都町　：山都町役場本庁、清和支所、蘇陽支所、道の駅「通潤橋」、道の駅「清和文楽邑」、道の駅「そよ風パーク」 五ヶ瀬町：五ヶ瀬町役場、特産センター五ヶ瀬 高千穂町：高千穂町役場、道の駅「高千穂」	10箇所
留置き ※４	【広域的な道路利用者】道の駅等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取		
		山都町：道の駅「通潤橋」、道の駅「清和文楽邑」、道の駅「そよ風パーク」 五ヶ瀬町：特産センター五ヶ瀬 高千穂町：道の駅「高千穂」	5箇所

◆アンケート調査（案）のイメージ

■住民アンケート（案）

①調査概要

■アンケート調査の趣旨やアンケートの対象者、今後の手続きの流れ等の説明

九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)における道路計画に関する 第2回アンケート にご協力をお願いいたします

九州横断自動車道延岡線は、熊本市を起点として山都町・五ヶ瀬町・高千穂町を経由し延岡市に至る道路です。

本調査は、九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、最適なルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な重視すべき事項についてご意見を頂くことを目的としています。

皆様のご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

本アンケートは、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町にお住まいの方全世帯に配布しています。

○本アンケートは、配布させていただいた世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。お手数ですがアンケートの趣旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。

○ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用　返信はがき」を4枚同封させて頂いております。

（対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。）

○なお、返信ハガキが不足する場合は以下の問い合わせ先にご連絡ください。

■回答の提出方法及び締切

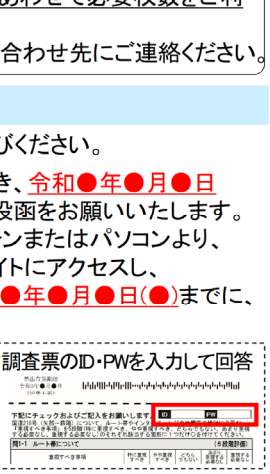
○回答はつぎのいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、令和●年●月●日(●)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、調査票に記載のIDとPWを入力の上、令和●年●月●日(●)までに、ご回答してください。

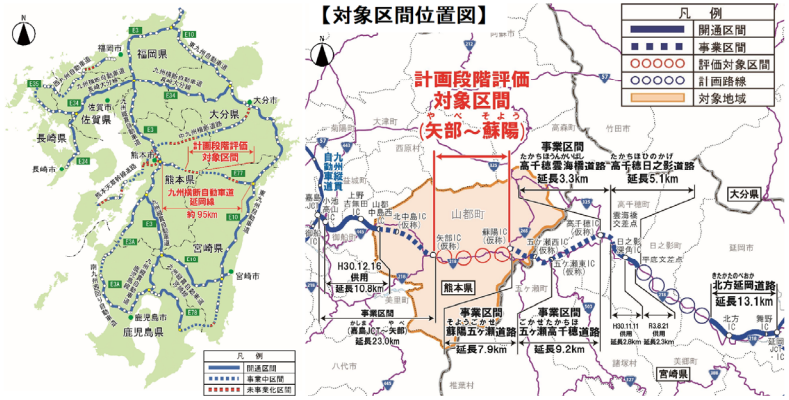
手順1
A 下記のURLをアドレスバーに入力
https://www.nobeokasen-web.com/webform/jm
B 右記のQRコードから アクセス

手順2
調査票のID・PWを入力して回答



国土交通省　九州地方整備局
問い合わせ先　熊本河川国道事務所　調査第二課　TEL:096-382-1242(直通)

九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)　対象区間位置図



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。

計画段階評価の流れ

九州地方小委員会（第１回（R1. 9. 10））→【第１回アンケート】（第１回（R1. 11～R2. 1））→九州地方小委員会（第２回（R3. 9. 13））→地域の皆様、関係機関企業等への意見聴取【第２回アンケート】（現在はこの段階です）→アンケート結果の分析→地域の皆様からの意見も踏まえ、概略ルート・構造等を引き続き検討します。

■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

◆アンケート調査（案）のイメージ

■住民アンケート（案）

②アンケート調査票

■政策目標や配慮事項、アンケートの質問内容等の説明。

評価の考え方

＜ルート帯を検討するうえで重視すべき事項＞

【暮らし】
1 ・熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと

【医療】
2 ・熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること
3 ・熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと

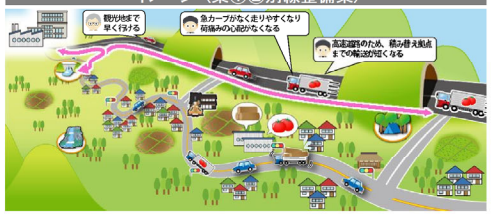
イメージ（案①②別線整備案）

イメージ（案③現道改良案）

【物流】
4 ・沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと
5 ・沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと

【観光】
6 ・観光地への移動時間が短いこと

イメージ（案①②別線整備案）

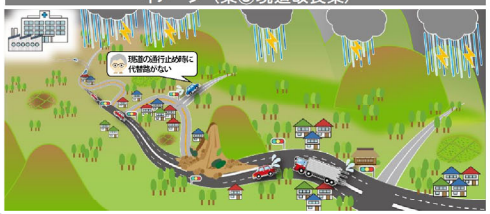


イメージ（案③現道改良案）

【防災】
7 ・災害時に国道218号等の代替路として利用できること

イメージ（案①②別線整備案）

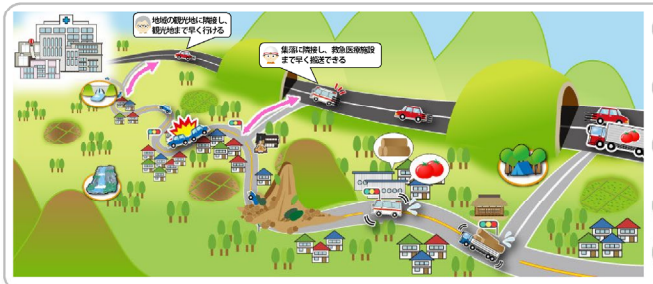
イメージ（案③現道改良案）



＜道路整備による影響＞

8 生活環境（騒音など）への影響が小さいこと
9 自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと
10 移転する家屋が少ないこと
11 沿道からの利用がしやすいこと
12 施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと
13 段階的な整備効果が望めること
14 整備費用が安いこと

＜インターチェンジの位置等を検討するうえで重視すべき事項＞



15 【暮らし】
・集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること

16 【医療】
・集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること

17 【物流】
・地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと

18 【観光】
・地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと

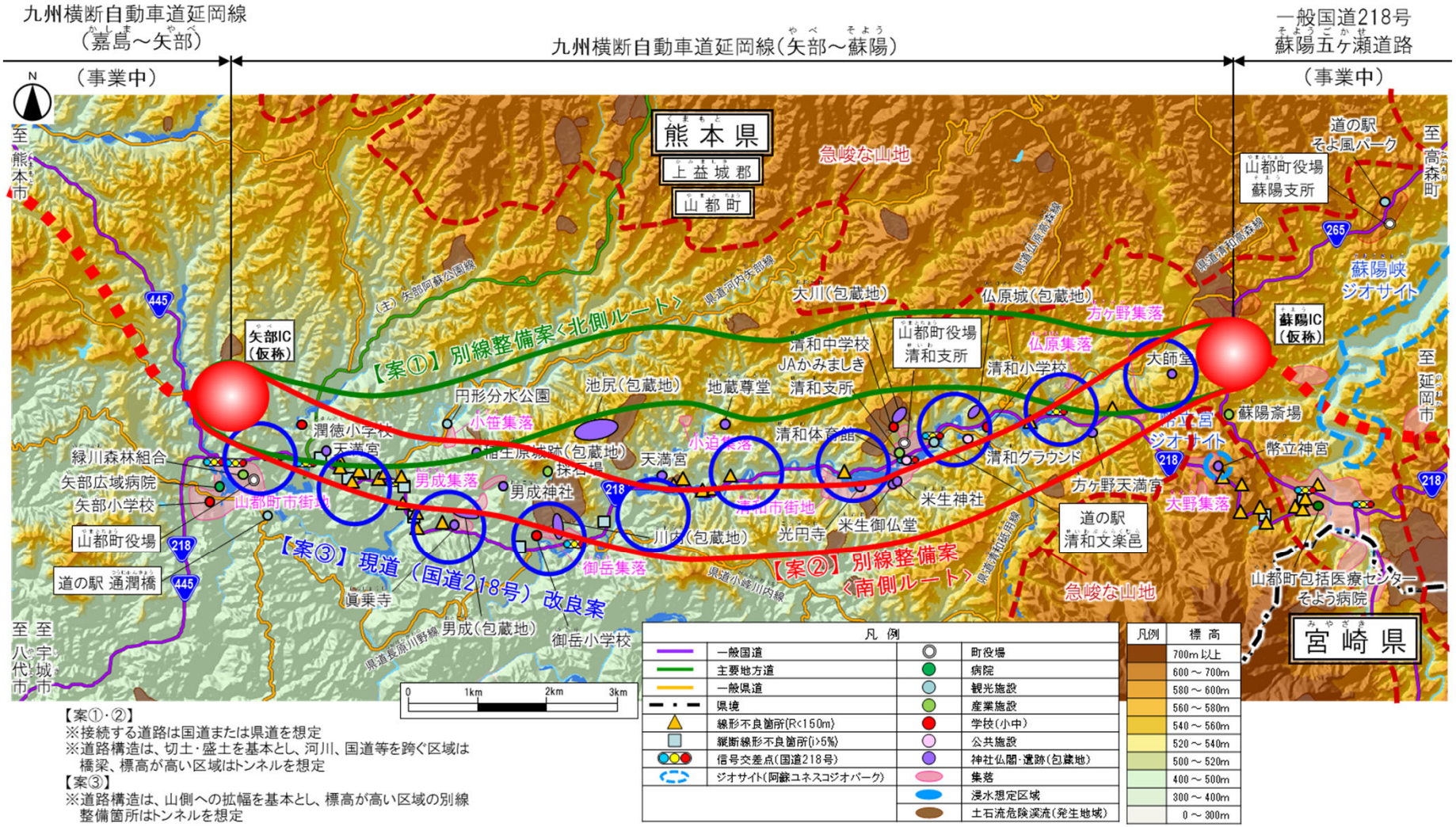
19 【防災】
・災害時に集落に移動しやすいこと

■住民アンケート（案）

②アンケート調査票

■各ルート帯案の立案趣旨や概要の説明。

【案①】別線整備案〈北側ルート〉：最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
【案②】別線整備案〈南側ルート〉：集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
【案③】現道（国道218号）改良案：国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案

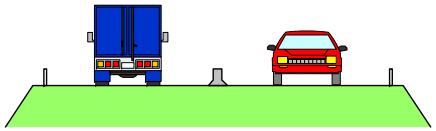
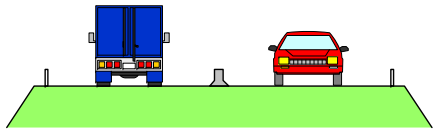
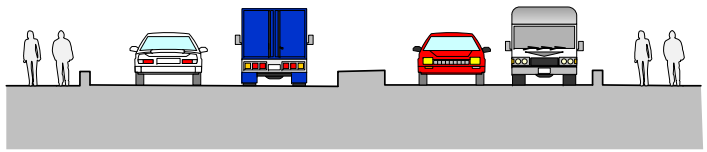


【案①・②】
※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道等を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定
【案③】
※道路構造は、山側への拡幅を基本とし、標高が高い区域の別線整備箇所はトンネルを想定

■住民アンケート（案）

②アンケート調査票

■各ルート帯案のポイントや道路構造の説明。

	ルート帯案のポイント	ルート帯案の道路構造
案①	・別線で、矢部IC(仮称）～蘇陽IC(仮称）を土石流危険渓流や集落分断を回避しながら最短で接続する。 ・中間ICの設置を想定しているが、国道218号や集落・産業施設から離れており、アクセスに時間を要する。 ・国道218号から離れた位置の通過、主要な幹線道路との交差がなく、施工時の工事進入がしづらく、整備に時間がかかる。	
案②	・別線で、矢部IC（仮称）～蘇陽IC（仮称）において、土石流危険渓流を構造物により回避し、集落や産業施設に配慮しながら接続する。 ・中間ICの設置を想定しているため、国道218号や集落・産業施設からのアクセス性が高い。 ・国道218号や主要な幹線道路付近を通過するため、施工時の工事進入が容易で、整備に時間はかからない。	
案③	・国道218号を改良し、線形不良箇所が多く連続する区間は別線で整備しながら、矢部IC（仮称）～蘇陽IC（仮称）を接続する。 ・集落、施設からの直接乗り入れが可能であり、アクセス性が最も高くなる。 ・国道218号の沿道には隣接する家屋があり、生活環境への影響が最も大きい。	

■住民アンケート（案）

②アンケート調査票

■各ルート帯案の比較表の説明。

評価項目					【案①】別線整備案<北側ルート>	【案②】別線整備案<南側ルート>	【案③】現道（国道218号）改良案
項目				評価指標	最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案	集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案	国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案
					延長　約14ｋｍ 自動車専用道路タイプ （設計速度:80ｋｍ/ｈ）	延長　約15km 自動車専用道路タイプ （設計速度:80ｋｍ/ｈ）	延長　約16ｋｍ 一般道路タイプ （設計速度:60ｋｍ/ｈ）
政策目標	暮らし	①	走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援	現道（国道218号）の走行性、安全性	・別線整備により、線形不良箇所をすべて回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・別線整備により、線形不良箇所をすべて回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・現道の線形不良箇所を改良し、走行性、安全性は向上するが、交差点が存在するため他案より劣る
政策目標	医療	②	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	沿線地域※1から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への搬送時間	・第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる	・第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる	・第三次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られるが、案①、案②より劣る
政策目標	医療	②	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	沿線地域※2から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への安静搬送（走行性）	・別線整備により、現道（国道218号）の線形不良箇所や信号交差点を回避でき、安静搬送(走行性)の向上が見込まれる ・国道218号から離れた位置を通過するためアクセス性が低く、町道を経由した搬送となることから、安静搬送(走行性)は案②より劣る	・別線整備により、現道（国道218号）の線形不良箇所や信号交差点を回避でき、安静搬送(走行性)の向上が見込まれる ・国道218号から近い位置を通過するためアクセス性が高く、国道218号から直接搬送できることから、安静搬送(走行性)が向上する	・現道（国道218号）の線形不良箇所を回避するが、信号交差点は1箇所のみの回避となるため安静搬送(走行性)の向上は案①、案②より劣る
政策目標	物流	③	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	沿線地域の産業施設※3から熊本市内の積替え拠点までの移動時間	・熊本方面への移動時間の短縮が図られるが、案②より劣る	・熊本方面への移動時間の短縮が最も図られる	・熊本方面への移動時間の短縮が図られるが、案②より劣る
政策目標	物流	③	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	沿線地域の産業施設※4から熊本市内の物流集積拠点までの走行性、安全性	・別線整備により、現道の線形不良箇所を回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・別線整備により、現道の線形不良箇所を回避でき、走行性、安全性の向上が見込まれる	・現道の線形不良箇所を改良し、安全性は向上するが、交差点が存在するため走行性の面で案①、案②より劣る
政策目標	観光	④	速達性、定時性の確保による観光振興の支援	熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間の短縮が図られる	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間の短縮が図られる	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間の短縮は図られるが、案①、案②より劣る
政策目標	防災	⑤	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能の確保	・別線整備により代替路が確保される ・国道218号から離れた位置を通過するため、指定避難所(山都町清和支所)からのアクセス性が低い	・別線整備により代替路が確保される ・国道218号から近い位置を通過するため、指定避難所(山都町清和支所)からのアクセス性が高い	・現道利用のため代替路が確保されない
道路整備による影響		⑥	生活環境	大気質、騒音等	・現道から最も離れた位置を通過するため、生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性は最も小さい	・一部集落付近を通過するため、生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性は案③より小さい	・現道周辺の集落付近を通過するため、生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性が大きい
道路整備による影響		⑦	自然環境	動物の生息地、植物の生育地への影響	・別線整備により、地形改変を伴い、動植物の生息地へ影響を与える可能性がある	・別線整備により、地形改変を伴い、動植物の生息地へ影響を与える可能性がある	・現道改良のため地形改変は他案に比べて少なく、動植物の生息地へ影響を与える可能性が低い
道路整備による影響		⑧	集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	・集落・市街地を概ね回避するため、家屋の移転等は最も少ない	・集落の周辺を通過するが、案③に比べて移転数は少ない	・沿道に隣接する家屋が多く、移転数は最も多い
道路整備による影響		⑨	沿道利用	周辺からのアクセス利用	・国道218号沿線の集落・施設等からのアクセス性が低い	・国道218号沿線の集落・施設等からのアクセス性は高いが案③に劣る	・国道218号沿線の集落・施設等からのアクセス性が高い
道路整備による影響		⑩	施工性	現道交通への影響、施工期間	・別線整備のため、現道交通への影響は少ない ・国道218号から離れた位置を通過するため、工事用進入路、仮設、仮橋設置などの追加工事による施工期間が長くなる	・別線整備のため、現道交通への影響は少ない ・国道218号から近い位置を通過するため、工事用進入路、仮設、仮橋設置などの追加工事による施工期間は短くなる	・現道交通を確保しながらの改良とするが、切り回しなどの影響で現道交通への影響が生じる
道路整備による影響		⑪	段階的な効果の発現	発現の時期	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる
道路整備による影響		⑫	コスト	整備に要する費用	約1,150～1,250億円	約950～1,050億円	約1,050～1,150億円

※1…沿線地域:山都町蘇陽支所
※2…沿線地域:案①～③の上段_山都町蘇陽支所、案①と案②の下段_山都町清和支所
※3…沿線地域の産業施設:JAかみましき清和支所
※4…沿線地域の産業施設:西臼杵森林組合（五ヶ瀬町）

◆アンケート調査（案）のイメージ

■住民アンケート（案）

③返信用はがき

（表　面）

8 6 1 - 8 7 9 0

料金受取人払郵便

熊本北局
承　認
0000

差出有効期限
令和●年●月●日
（切手不要）

熊本県熊本市東区西原1丁目12番地1
熊本河川国道事務所

九州横断自動車道 延岡線　（矢部～蘇陽）
計画段階評価 事務局 行

下記にチェックおよびご記入をお願いします。 ID　PW

国道218号（矢部～蘇陽）について、ルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」を5段階（特に重視すべき、やや重視すべき、どちらでもない、あまり重視する必要なし、重視する必要なし）のそれぞれ該当する箇所に１つだけ○を付けてください。

問1-1　ルート帯について　（５段階評価）

	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
暮らし	①熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと					
医療	②熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること					
	③熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと					
物流	④沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと					
	⑤沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと					
観光	⑥観光地への移動時間が短いこと					
防災	⑦災害時に国道218号等の代替路として利用できること					
道路整備による影響	⑧生活環境（騒音など）への影響が小さいこと					
	⑨自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと					
	⑩移転する家屋が少ないこと					
	⑪沿道からの利用がしやすいこと					
	⑫施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと					
	⑬段階的な整備効果が望めること					
	⑭整備費用が安いこと					

問1-2　ルート帯に関して、重視すべきと思う理由があれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

⇒裏面に続きます

（裏　面）

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

国道218号（矢部～蘇陽）について、ルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」を5段階（特に重視すべき、やや重視すべき、どちらでもない、あまり重視する必要なし、重視する必要なし）のそれぞれ該当する箇所に１つだけ○を付けてください。

問2-1　インターチェンジの位置などについて　（５段階評価）

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
⑮集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること					
⑯集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること					
⑰地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと					
⑱地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと					
⑲災害時に集落に移動しやすいこと					

問2-2　インターチェンジに関して、重視すべきと思う理由があれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

問3　上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所	1. 山都町　2. 五ヶ瀬町　3. 高千穂町 4. その他（[　　]都・道・府・県　[　　]市・区・町・村）
性別	1. 男性　2. 女性
年齢	1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代　5. 50代 6. 60代　7. 70代以上

問4　普段、国道 218 号(矢部～蘇陽) をどの程度利用していますか？
【該当する番号に1つだけ○をつけてください】

1. ほぼ毎日　2. 週に数回程度　3. 月に数回程度　4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない

問5　国道 218 号(矢部～蘇陽) を通行する際の主な移動手段は何ですか？
【該当する番号に1つだけ○をつけてください】

1. 自動車　2. 公共交通(バス、タクシー)　3. バイク　4. 自転車
5. 徒歩

問6　国道218号（矢部～蘇陽）を通行する際の主な利用目的は何ですか？
【該当する番号に1つだけ○をつけてください】

1. 通勤・通学　2. 仕事(営業、商談、運送など)　3. 私用(買物、食事、通院など)
4. その他　（　　）

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

ご協力ありがとうございました。